NPO法人てんぱくプレーパークの会
２０２５年度事業報告

（１）遊びをはじめとした子どもの最善の利益を保障する事業

【日常開園】他

（２）子育ち・子育ての環境づくり事業

【森のひろば】【地域子育て支援ネットワーク事業】

（３）子どもの社会参画事業

【子ども主体事業】

（４）子どもを中心としたまちづくり事業

【晴れた日には学校を休んで】【共同事業】

（５）人材育成事業

【みちくさクラブ】【森のランチ会】

（６）広報啓発事業

【てんカツ】【広報】

（７）その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【なごホーム・天白児童館コンソーシアム】他

（８）会議の開催

【総会】【理事会】

（１）遊びをはじめとした子どもの最善の利益を保障する事業

【日常開園】

〈開園日数・来園者数〉

令和7年度来園者数

月（開園日数）	４月（19）	５月（19）	６月（18）	７月（19）	８月（6）	９月（１７）	
来園者数	1,095	694	682	519	142	428	
月（開園日数）	１０月（21）	１１月（18）	１２月（１７）	１月（１８）	２月（１７）	３月（18）	合計（207）
来園者数	843	930	700	880	705	752	8,370
合計　8,370人	開園日数　207日		1日平均　40.43人				

※7/29，7/30，8/21，8/22，8/30，8/31，9/3

38℃以上を判断目安とし、暑さ対策として臨時休園

【プレーワーカー所感】

ワーカーになり、節目の５年が経とうとしている。

今年度は子どもたちも節目を迎えることが多く、高校生になったり地元を離れて県外の専門学校に進学したり、職場を変える青年もいたり、子どもも青年も大人も不安を抱えることがあって、楽しく自由にあそぶプレーパークというだけでなく、不安を正直に話せる場でもあったなと、１年を振り返って思う。

プレーパークの自転車を乗り回すだけだった男の子たちがきまっちのところに来て、「プレーパークにあるあそぶ物って買ってるの？」「え！全部寄付なの！」「俺が小さいときに使ってたおもちゃを寄付するよ！」「大丈夫！きれいでまだ使えるやつはブックオフで売るから（笑）ホントに使わないものを持ってくるよ」と、プレーパークがどんなところか分かると、貢献しようと考えてくれる男子たちだったり、遠くの小学校からわざわざきまっちに会いに来てくれる小学５年生の女子たちが新しく仲間になったり、「晴れた日には学校を休んで」に毎週来ている小学生集団は朝から閉園までプレーパークであそんでいたりなど、今年度はプレーパークにハマる小学生が少し増えた１年だった。

あそびについては、寄付でいただいた自転車が大人気で、平日の幼稚園児たちは我先にと、自転車を乗るためだけにダッシュで幼稚園からプレーパークまで来たり奪い合いを始めたりしていた。創造性豊かな園児たちは、プレーパークにある物を小屋から出しまくって秘密の部屋を作り、片付けをやらずにおやつを食べようとしてるところに保護者から「片づけやらんかい！」と叱られてたり、ここ何年もザリガニ乱獲をしていた高校生たちは何の反省からか、よそから捕ってきたザリガニをこっそりザリ池に放流したり、それぞれが「責任」も考えながら自由に過ごしていた。

反省点としては不審と思われる大人が来たときの対処ができなかったと感じている。プレーパークは誰が来てもいい場所ではあるが、子どもにとってよくない影響のある可能性がある大人は、なるべく子どもたちに近寄らせたくないと個人的には考えているので、うまく対応できるように理事のみなさんと協力や議論をして考えていかないといけない。

次年度もこれまで同様、子どもたちを最優先にして、楽しく自由で安心できる居場所となるになるようにしていこうと思う。

【ケガ】なし

【見学】

4/19　とよたプロボノ
4/22　こまき未来館スタッフ 2 人
11/13　日本福祉大学　中村ゼミ 2 年生
12/16　日本福祉大学　橋本ゼミから 4 人
2/19　　桜美林大学教育探求科学生　元ももやま卒園生
2/24　　大学生
3/17　ガイア自然学校（取材）

【視察見学】

7/19　日本福祉大学　社会福祉学部　中村ゼミ生 10 人+先生
8/21　名城大学学生（臨時閉園のため座学のみ）
12/10　日本福祉大学　橋本ゼミ
12/16　三重県津市久居総合支所　地域振興課　5人

【研修】

6/18　「応急処置講座」学習センター　参加：大人 6 人、子ども 1 人
6/25　「NPO 会計入門講座 ～基礎・実務編」　参加：会計 1 人
7/8　　「認定ＮＰＯを取得書類作成講習」　参加：会計 2 人
10/8　職員研修（児童館職員向け）　参加：職員 3 名
10/14　「CANVA の基本を学ぼう」参加：8 人

（1）「遊びをはじめとした子どもの最善の利益を保障する事業」収支

収益	104,000 円
支出	1,880,514 円

（2）子育ち・子育ての環境づくり事業

【森のひろば】

事業内容：共に子育ち・子育てをする環境づくりを目的に、主に未就園児親子対象で自然に親しみながら自由に過ごし、おやつやご飯を作って皆で食べる。
開催日：水曜日定期春秋 10 回、木曜日単発での開催春秋冬　年間 42 回　10 時ごろから開始～自由解散
運営協力金：水曜日定期 10 回 6,000 円申込制、木曜日単発 1 回 700 円申し込み不要
スタッフ：コーディネーター1人、他スタッフ 11 人

開催日	内容	参加者(子ども)人	参加者(大人)人	合計
4/23(水)	お試し会　豚汁	1	1	2
5/7(水)	春10 回コース①　中華あんかけ	6	5	11
5/8(木)	単発①　豚汁	1	1	2
5/14(水)	春10 回コース② おさがりバザー羽釜ごはんでおにぎりとみそ汁	4	4	8
5/21(水)	春10 回コース③　餃子と汁物	6	6	12
5/22(木)	単発②　ちらし寿司	0	0	0
5/28(水)	春10 回コース④　パエリアとホイル焼き	6	6	12
6/4(水)	春10 回コース⑤　冷やしうどん	6	6	12
6/11(水)	春10 回コース⑥　夏野菜カレー	5	5	10

6/12(木)	単発③　せいろ蒸し	5	5	10
6/18(水)	春10 回コース⑦　冷や汁	7	7	14
6/25(水)	春10 回コース⑧　あそぼうパン	7	7	14
6/26(木)	単発④　羽釜ごはんとホッケ	2	2	4
7/2(水)	春10 回コース⑨　冷や汁とフルーツポンチ	5	5	10
7/9(水)	春10 回コース⑩　流しそうめん	6	6	12
7/10(木)	単発⑤　流しそうめん	6	6	12
10/1(水)	お試し会　豚汁	6	6	12
10/8(水)	秋10 回コース①　スープカレー	8	8	16
10/9(木)	単発①　豚汁	3	2	5
10/15(水)	秋10 回コース②　長巻きずし	10	8	18
10/22(水)	秋10 回コース③ おさがりバザー炊き込みご飯と石狩風みそ汁	8	8	16
10/23(木)	単発②　ごはんのカリカリ焼きと野菜スープ	2	2	4
10/29(水)	秋10 回コース④　肉まん蒸しパン	7	8	15
11/5(水)	秋10 回コース⑤　あんかけ	8	8	16
11/6(木)	単発③　豆乳鍋	5	5	10
11/12(水)	秋10 回コース⑥　モツ煮	9	9	18
11/19(水)	秋10 回コース⑦　あそぼうパン	6	5	11
11/20(木)	単発④　せいろ蒸し	15	11	26
11/26(水)	秋10 回コース⑧　ホイル焼き	6	6	12
12/3(水)	秋10 回コース⑨　おでん	6	7	13
12/4(木)	単発⑤　あそぼうパン	15	15	30
12/10(水)	秋10 回コース⑩　芋煮	9	7	16
1/14(水)	単発①　五平餅	3	3	6

1/21(水)	単発②　豆乳鍋	5	4	9
1/29(木)	単発③　ほうとう	4	4	8
2/4(水)	単発④　きりたんぽ鍋	5	4	9
2/12(木)	単発⑤　スープカレー	4	4	8
2/18(水)	単発⑥　味噌煮込みうどん	7	6	13
2/26(木)	単発⑦　豆乳鍋	7	7	14
3/4(水)	単発⑧　バームクーヘン	2	2	4
3/12(木)	単発⑨　あそぼうパン	15	12	27
3/18(水)	単発⑩　ちらし寿司	11	11	22
合計		259	244	503

〈所　感〉

前年度からの変更点は、金曜単発開催を木曜単発開催にして春・秋ともに各全 5 回の実施としたこと。

〇水曜日定期 10 回コースには前年度からの参加者が数組参加したので初回から和やかな場が作られていた。森のひろばで作って食べたいものを参加者同士で意見を出し合い実行しているが、全10回分のメニューが初回でほぼ決まっていた。

定期開催コースの参加が 10 組以下だったので当番を2組に分け、スタッフメニューの日を増やして参加者の負担にならないようにした。自分たちの食べたいものは自分たちで調理することが楽しいようでスタッフも参加者と同じ目線で調理を楽しみ、交流の場が持てていた。定期開催コース参加の方が友達親子を単発開催に誘って参加する姿も見られ、その親子がその後 10 回コースへ途中から参加するといったこともあった。森のひろばにとって口コミは大事な宣伝材料であると感じた。

〇秋も春から引き続き参加の親子が数組申し込み。初参加の中に 2人の子どもと参加しているお母さんがいたが、参加者同士やスタッフが関わることで親子つきっきりの遊びから子ども同士で遊ぶ姿に変わっていく姿が見られた。「コーヒーを温かいうちに飲めたのは久しぶりです」とスタッフに伝えてくれたのが印象的であった。

定期開催には参加できないけれど、一緒に遊びにきたい友達がいるから単発開催に参加してあそぼうパンをやりたい、など参加者からの意見でメニューが決まることもあった。

秋の森のひろばが終わりに近づくと冬の森のひろばがどんなものなのか直接スタッフに聞いてくる参加者が数組おり、森のひろばがてんぱくプレーパークに遊びに来るきっかけになっているのだと感じた。

〇冬の森のひろばは祝日を避けた水曜・木曜の交互開催で 10回開催した。天候は比較的良かったものの気温が低い日や風が強い日など日によって参加者の少ない日もあったがメニューによって参加者が多い日もあった。母子で参加する人が多い中、育児休暇中の父子で参加する人もいた。お父さんにとっては焚火や森の中に探検に行くなど、他の子育て支援拠点よりも居心地のいい場となっていたように思う。

〇その他

区社協／子育てサロン運営助成金申請

2025.10～2026.3　月 2 回開催 6 か月間の申請で 11,000 円の助成を受けた。

【地域子育て支援ネットワーク事業】

事業内容：名古屋市において子育て支援機関で構成された団体が子育て世代を支援するため、また区域を越えて連携して活動することを目的に、名古屋市でプレーパークをしている 3 団体（NPO 法人てんぱくプレーパークの会、NPO法人こどもNPO、名東プレーパークの会）が共催で行った。

開催日と参加者数：11/24「遊育のススメ」　大人 74 人・子ども 26 人

12/13「実践者のつどい」　大人 23 人

実施内容：

11/24 講演を通して、子どもの発達や成長に影響する遊び育つ環境の啓発、子どもの自由な遊びを保障する団体や場を支えてくれる人を増やす。

12/13 プレーパークや子育て支援など愛知県を中心に子どもたちに関わる実践者の課題共有をする。

(2)「子育ち・子育ての環境づくり事業」収支

収益	350,200 円
支出	567,504 円

（３）子どもの社会参画事業

【子ども主体事業】

事業内容：子どもたちが主体的に活動することを目的に、子どもたち自身から出た意見を企画・運営・活動につなげていく。

開催日：毎月原則第 3 日曜日　開園中（内容次第によって変更）年間 12 回

運営協力金：なし

スタッフ：プレーワーカーとコーディネーター

開催日	内容	参加者（子ども）人	参加者（大人）人	月別合計
4/8	こどもミーティング	10	2	12
5/18※	みんなのまち	46	34	80
6/22	水遊び、ドラム缶風呂	10	2	12
7/20	水遊び、かき氷、パン・飴食い競争、菓子まき	20	2	22
8 月	40℃予報のため臨時閉園			
9/21	運動会→見送る（中止）			
10/19	こどもミーティング	5	2	7
11/16	ハロウィン（仮装大会）	15	3	18
12/21	流し〇〇、焼き〇〇	7	4	11
1/18	スポーツ大会	17	11	29
2/22	闇なべ	約 15	約 5	約 20
3/22	みんなのまち	約 45	約 15	約 60
合計		約 190	約 80	約 270

※5/18 は、天白生涯学習センターと共催　ファミリーデー 「プレーパークで遊ぼう」開催

〈所　感〉

4月のこどもミーティングで「半期分全部決めて 10 月にミーティングする」「ミーティングと活動を毎月交互にする」2 つの案に分かれて、10 月のこどもミーティングまで試してみることになった。実行員の中学生たちは、自分たちの学校生活を考えるとだんだんモチベーションの変化もあり、小学生の「毎回ミーティングで決めるのはめんどう」という意見が通った。今年度は「まち」を 2 回やることになり、1 回は生涯学習センターのファミリーデーと共催で行うことになった。

実行委員はやってみたい小学生が入って人数は増えるが、意見を言う・話し合うということまでは遠く、企画も運営も小 4 のA ちゃん（当時）の負担が大きい。当日に時間になってもなかなかスタートできない時もあった。毎回準備をしているわけではないので、派生的に生まれることから展開していくことが多いが、子どもたちの考えて遊ぶチカラは大きいなと毎回感じる。

(3)「子どもの社会参画事業」収支

収益	0 円
支出	86,649 円

（4）子どもを中心としたまちづくり事業

【晴れた日には学校を休んで】

事業内容：親子にとって安心安全な場所、情報交換やリフレッシュできる場を目的に、「学校」に思うところがある子ども・大人が集い、参加者皆で昼食を作り食べる。

開催日：第2,第4火曜日（4月～11月）　毎週火曜日（12月～3月）
運営協力金：一組500円（予約不要）
スタッフ：プレーワーカーとスタッフ2人

開催日	内容	参加者(子ども)人	参加者(大人)人	組数	合計
4/8	焼きおにぎりと豚汁	5	3	3	8
4/22　※	カレー&子ども会議「計画を立てよう！」	3	3	2	6
5/13　※	手羽先ラーメン& トマト・ナス・さつまいもの苗植え	8	6	5	14
5/27	サラダうどん	0	0	0	0
6/10	焼きそば	0	0	0	0
6/24　※	焼きそば	2	2	2	4
7/8　※	冷やしうどん&おつかい	6	5	5	11
9/9　※	冷やしうどん	5	3	2	8
9/30	冷やし茶漬け&さつまいも収穫	4	3	3	7
0/14 ※	手羽先ラーメン&じゃが芋植え	3	2	2	5
10/28	いろいろなレトルトカレーを混ぜて食べよう	6	3	3	9
11/11 ※	オムライスとスープ&干し柿をつくろう	9	8	8	17
11/18	お好み焼きとスープ	7	4	5	11
12/2　※	手作りピザとスープ& 「晴れた日～」の旗づくり	8	6	6	14
12/9	手打ちうどん	7	5	5	12
12/16	からあげマウンテンとスープとケーキ	11	10	7	21
1/13 ※	餅つきとスープ	6	5	5	11
1/20	具材そのまま丸ごとポトフ	8	7	4	15
1/26	おでんと焼きニンジン&じゃが芋収穫	9	7	7	16
2/3	具だくさんうどん	6	6	6	12
2/10 ※	収穫したじゃが芋を使ってポテトフライから あげマウンテンとスープ& 「遅れてきた節分」菓子巻き	9	7	6	16
2/17	鉄板チャーハンと具だくさんスープ	4	5	4	9
2/24	鉄板お好み焼きとスープ	5	6	5	11
3/3	雨のため休み				
3/10 ※	鉄板オムライスとスープ、チョコフォンデュ	10	6	6	16
3/16	巻かないロールキャベツ&パン食い競争	9	8	6	17
合計		150	120	107	270

※の開催日は、「地域の子ども応援事業」の助成金を使って開催

〈所感〉

例年通り、1学期は参加者が少なめで、2学期の気候がよくなったあたりから増えてきた。参加者の内訳も小学生が主体、学年もほどよくばらけ、男女比も半々くらいの日が多かった印象。前半は月2 回の開催としていたが、常連参加者から毎週開催してほしいとの声があり、12 月からは毎週の開催となった。とくに後半は子どもたちも親から離れて子どもたちだけの世界で遊ぶことが増え、親は親で情報交換をしたり、ゆっくりとお茶を飲んだりとそれぞれがリフレッシュする時間をうまく持てたと思う。うどん作りやからあげマウンテン、パン食い競争などみんなで「協力」する内容を盛り込めたのも子どもたち親たちがほかの参加者と交流するきっかけとして機能した。また今年度は名古屋市社会福祉協議会「地域の子ども応援事業」の助成金があったので、ラーメン作りや畑づくりなど、子どもたちの「やってみたい！」を応援できた。

（※インスタグラムと LINE のオープンチャット（登録数 55 人／年度末）で開催日前日にメニューをお知らせしているので、新規の参加者はそれをみて来られた親子、もしくはいま来ている子がお友達に声をかけてくれて来られた親子がほとんどだったため、チラシをもっとうまく活用できた

らと思う。）

【共同事業】

〈自主保育グループ　ももやま（法人会員）〉
・5月29日　児童館でちびもも　　4組
・6月12日　森ひろ✖ちびもも　　2組
・10月2日　児童館でちびもも　　5組
・11月20日　森ひろ✖ちびもも　　8組
・11月27日　焼き芋　　プレーパークにて　31人
・1月28日　焼きパン　　プレーパークにて　12人
〇所感
　無料体験へは 4 組繋がった。
　コラボの際、時間に余裕があればプレーパークまで受付に行けるが、ギリギリだと開催が遅れるため、ちびももスタッフが受付をする方がスムーズだと感じた。直前まで申し込みがない時もあり、開催に迷うこともあった。焼き芋、焼きパンは例年通りプレーパークの焚き火ゾーンを借りて実施した。

〈てんぱく子育てフェア 2025〉
事業内容：同じ地域で活動する多団体と連携してこの地域で子育てをする親子とつながることを目的に、大きく遊ぶコーナーの要員として参加した。
開催日：9/25　10時～13時　　天白スポーツセンター 第1、第2競技場にて
参加者：親子約700組
スタッフ：2人

〈安心・安全・快適まちづくり活動補助金〉
事業内容　昨年度に講師と手入れをした裏山をさらに地域の子どもたちが遊びたくなる裏山にすることを目的に、その整備の継続と事業に関わるスタッフの研修
開催日：10/14　15：00～18：00、
　　11/1・12/6・1/10　9：30～12：00
参加者数：10/14（研修）8人

〈天白生涯学習センター「こどもまつり」〉
事業内容：天白生涯学習センター主催の「こどもまつり」で 水餃子、ポップコーン、マシュマロの販売、ミニプレーパークを出店。
開催日：2026年3月8日　10時～15時
収入：103,840円　支出：23,174円　収支：80,666円
　水餃子 157杯（1杯200円）
　ポップコーン648杯（1杯100円が540杯、1杯50円が108杯）
　マシュマロ　約400個（1つ30円、2つ50円）
〇所感
・2,000人を超える来場者数があり、売上も過去最大であった。小学生たちが飲食の店番、中高生がミニプレーパークの見守りや急な買い出しに協力してくれていた。
・天白児童館から機械を借りてつくったポップコーンは売れ行きが良く、次回もやるといいのではないか。
・ミニプレーパークは場所が奥の方でいつもわかりにくいのだが、焼きマシュマロができるというふうに宣伝し、飲食ブースでマシュマロを売ったことが誘導になったのか、常に賑わっていた。ただ火の扱いについては慣れていない子どもたち、親たちが多いためしっかりした見守りが必要。

〈天白区区民まつり〉

事業内容：ぜんざいの販売、クラフトコーナーの出店

開催日：2025 年 10 月 26 日　10 時～15 時　　天白公園

収入：43,900 円　支出：24,067 円　収支：19,833 円（ぜんさい、クラフト合わせて）

ぜんざいの販売数は 141 杯（1 杯300 円）

〇所感

区民まつりへは初の出店となった。雨のため全体的に来場者は少なかった。以前まではなかったキッチンカーも多数出店しており、食べ物の出店に対する客足はばらけるようになっていた。

ぜんざいについては、来場者数がかなり少なかったにも関わらず準備、対応がそこそこ大変だったので、次回もやるのは難しいかもしれない。ただ保健所の指導で、作ることができる品目は非常に限られており、出店内容については課題。

〈天白・もりのフォーラム（天白公園整備クラブとの共催）〉

事業内容：名古屋市天白区内に現存する豊かで貴重な自然をフィールドとして活動している市民グループと関係行政機関がネットワークでつながり、学びあうこと交流を目的に、まちづくりの視点から共催企画を行う。

開催日：7/12「竹水鉄砲を作り、飛ばして遊ぼう」

11/8 「生物多様性センターまつり」にてクラフト担当

参加者数：7/12　25 人、　11/8　3,200 人（来場者数）

その他：定例会が奇数月第 3 火曜日

(4)「子どもを中心としたまちづくり事業」収支

収益	406,800 円
支出	517,512 円

（５）人材育成事業

【みちくさクラブ】

事業内容：事業間のつながりをつくり、またプレーパークの環境整備を目的に、森の整備や看板設置などを行いながら、お昼ご飯を作って世話人同士が交流する。

開催日：毎月原則第１土曜日（5,8,1 月除く）　11 時～

運営協力金：一組 700 円

スタッフ：世話人

開催日	内容(食事と作業)	参加者(子ども)名	参加者(大人)名	組数	月別合計
4/5	ちらし寿司　事業の報連相	6	8	7	14
6/7	鶏の丸焼きとスープ 蛇口近くの補修(土のう作り)	10	11	10	21
7/5	冷や汁〇〇　竹切り	9	8	8	17
9/6	防災食　スチール小屋片付け	5	6	6	11
10/4	パエリア　区民まつり準備	5	8	7	13
11/1	〇〇汁　森の整備１	3	7	6	10
12/6	水餃子　森の整備２	3	6	5	9
1/10	チーズトマト鍋　森の整備３	7	8	8	15

2/7	中華あんかけ 生涯学習センター子どもまつり話し合い	8	12	11	20
3/7	チラシ寿司 生涯学習センター子どもまつり準備	7	10	9	17
合計		63	84	77	147

〈所　感〉

今年度は食事と作業のバランスが取れていたと思う。竹を切りに行ったり、共催事業の準備をしたり、またプレーパーク内の環境整備といった日常開園では手が回らない作業を毎回行えたことがとてもよかったと思う。11 月から 1 月までの 3 回は、昨年度同様に天白区の安心・安全・快適まちづくり活動補助金を使い、講師の真弓さんに来ていただき森の整備をした。うっそうとした森がすっきりして空が見えるように変わり毎回達成感とすがすがしさを感じる。2 月にも来てハンモックを作ってくださり、子どもだけでなく大人にも大好評だった。

【森のランチ会】

事業内容：参加者の継続交流と人材育成を目的とし、大人も子どもも楽しめる料理を共同作業を通して楽しむ。

開催日：毎月原則第 3木曜日（てんかつ開催日の直前の木曜日）

運営協力金：一組 500 円　（予約不要）

スタッフ：2人他

開催日	内容	参加者 (大人)人	参加者 (子ども)人	月別合計
4/17	プルコギ焼きそば&スープ	10	2	12
5/15	ガパオライスとカレー味スープ	5	1	6 ｉ
6/19	蒸し料理と冷やし茶漬け	10	1	11
7/17	冷やし〇〇とかき氷	3	1	4
9/18	冷やし〇〇とかき氷	3	1	4
10/16	さんまと冷や汁	4	1	5
11/13	芋煮	12	10	22
12/18	ハンバーグとシチュー	11	8	19
1 月	中止			0
2/18	岐阜タンメン風鍋	5	3	8
3/19	ちらし寿司とお吸い物	9	9	18
合計		72	37	109

〈所　感〉

6 月開催は気温 37度予報であったため冷やしメニューを追加してしのいだ。

夏場の開催は厳しい状況ではあるが、かき氷などイベントで呼び込めば勝機はある。暖冬で寒さには対応できたが、4 月10 月11 月が過ごしやすい。

(5)「人材育成事業」収支

収益	136,500 円
支出	256,636 円

（６）広報啓発活動

【てんカツ(てんぱくプレーパーク活動応援日)】

事業内容：てんぱくプレーパークの活動を応援してもらう人を増やすことを目的に、参加しやすく楽しい企画をその場に集まった人たちとつくっていく。

開催日：毎月原則第 3 土曜日

運営協力金：大人 500 円　子ども無料　（予約不要）

スタッフ：4人

開催日	内容	参加者(子ども)人	参加者(大人)人	月別合計
4/19	屋根より高い！？こいのぼりつくろう	25	20	45
5/17	巨大ゼリーをつくろう	11	8	19
6/21	七夕かざりをつくろう	36	24	60
7/19	流し〇〇（流しそうめん＋α）	44	44	88
8/30	気温が高すぎるため中止	-	-	-
9/20	超！！水遊び＆フルーツポンチづくり	16	13	29
10/18	月見団子つくろう	20	14	34
11/15	リースづくり＆シチューうどん	21	15	36
12/20	巨大クリスマスケーキをつくろう	17	15	32
1/17	ﾁｷﾝﾗｰﾒﾝまつり＆書き初め＆ミニとんど	14	13	27
2/21	もちつき	40	39	79
3/21	五平餅をつくろう	22	21	43
合計		266	226	492

〈所　感〉

2025 年度からてんカツを担うスタッフが代わり、4 人体制で担っていくことに。初めてなので やっていきながら考えていこうということで、内容はまずは自分たちのやりたいことを中心にしながら開催した。徐々に、「初めての人が参加しやすい」「初めての人がわかりやすい」ということをどのように入れ込んでいくかも考えながら進めていくことができた。

【広報】

〈通信〉

広報費用24,282 円（印刷費・発送費・ 用紙代 ）

・編集部員 8 人

・発行　年 3 回（7 月、11 月、３月）

・会議　年 3 回（6 月、10 月、２月）

・実施内容：会報紙として会の活動報告、事業活動のお知らせや報告、日常や企画ページなど、通信を通してお届け。

・発送費の削減：近隣の方へはポスティング、知り合いには手渡しできるよう表にまとめた。

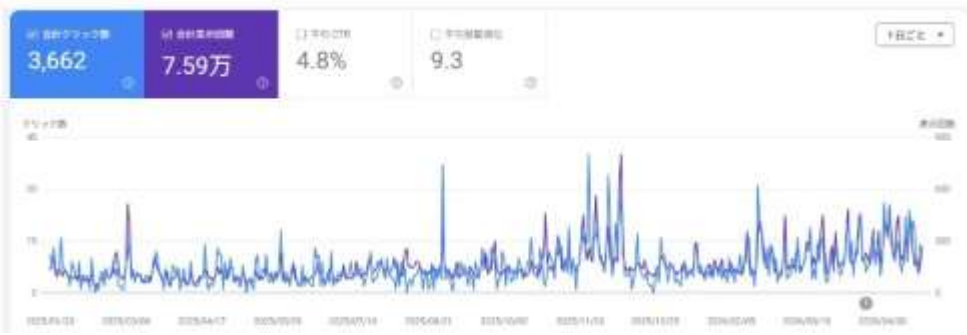
・宛名印刷業務を分担

〈HP〉

更新作業： 毎月カレンダーで開園日のお知らせ、 ブログ作成

その他実施：サイトの管理、バージョンアップ作業、 サーバー(5,940 円/年)、ドメイン(2,272 円/年)の更新、パスワード変更、 トップページの編集、団体概要の報告資料のアップなど

参考)1年間のホームページ訪問者数、検索キーワード



〈SNS〉
・Instagram にお知らせやブログを投稿
・投稿にあげたものをストーリーズでリマインド
・日常の様子をストーリーズにあげる
・Instagram から Facebook に共有
・土日開園はリアルタイムでストーリーズにアップすることで、当日プレーパークを検索した人に情報をたくさん届くようにした。

〈その他〉
天白子育てカレンダーに毎月掲載

(6)「広報啓発事業」収支

収益	143,700 円
支出	108,417 円

（７）その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【なごホーム　名古屋市天白児童館】

運営形態：NPO 法人たすけあい名古屋・名古屋市天白区社会福祉協議会と NPO 法人てんぱくプレーパークの会 3 者によるコンソーシアムによる運営を実施。天白児童館は、名古屋市天白区社会福祉協議会との 2 者による運営(R7～R11 年度が指定管理期間)。

基本方針
1, 居心地のよい居場所づくり
2, 子どもの意見を反映した児童館運営
3, 地域ネットワークを活用した子育て支援
4, 自由な外遊びの機会を増やす

開園日程：2025 年4月 1 日～2026 年 3 月 31 日　　年間 292 日
来館者数：24,040 名(館内利用　21,027 人　　館外利用 3,013人名)
事業：子ども育成事業・子育て支援事業・クラブ活動・移動児童館事業・天白福祉会館との合同事業など

〈所感〉
コンソーシアム 1 年目、館長・レクリエーションスタッフ・臨職 2人・移動児童館スタッフ・ユースサポートスタッフがプレーパークより勤務。
利用者対応について相違もあり、コミュニケーション不足を感じることもあった。子どもの最善の利益を考え、丁寧な関わりを考えていきたい。

【中学生の学習支援事業・高校生世代への学習・相談支援事業】

運営形態：名古屋市天白区社会福祉協議会と NPO 法人てんぱくプレーパークの会のコンソーシアム

実施日程: 2025 年 4 月～2026 年 3 月　年間 52 回

参加者数：中学生　442人　　登録中学生 12人(中 1：2 人　中 2：3人　中 3；7人)

高校生世代　39人　登録者 5人(高 2：5人)

〈所感〉

生徒の対応で、なごや子ども応援委員会とも情報を共有した。外部講師を招いて、「気持ちのワーク」「お金について」の学びを深めた。

【移動児童館in てんぱくプレーパーク（児童館事業）】

事業内容：なごホーム基本方針 4の 外遊びの機会を増やすことを目的として、天白公園にあるてんぱくプレーパークにて、木曜日の午後 2 時から 5 時　　年間 30 回を実施

2025 年 4 月 17 日～2026 年 3 月 5 日　30 回　利用者 1,036 人

(7)「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」収支

収益	11,331,670 円
支出	9,151,916 円

（８）会議の開催

【総会】

〈通常総会〉開催日及び場所：2025 年 6 月 1 日 14：00～　　天白生涯学習センター

【理事会】

〈2025 年度第 1 回理事会〉

開催日時及び場所：2026 年 3 月 5 日 10：00～ てんぱくプレーパーク内

議題　・第一号議案2026 年度事業計画案及び収支予算案について

・第二号議案　　2026 年度総会開催日程及び開催場所について